臨床研究に関する公開情報

呼吸器内科外来を初診受診され、CT を撮影された患者さんへ

2026 年 2月 17 日

観察研究とは，患者さんに診療記録（カルテや検査結果など）のデータをご提供頂くことによって，病気の予防・診断・治療に関する情報を集め，これを詳しく調べて，医療の改善につながる新たな医学知識を発見するための研究です．私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して，現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い，より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように，下記の観察研究を行っています．

下記の観察研究は，国立病院機構京都医療センター倫理委員会の承認を得た後，研究責任者の管轄のもとに行われます．当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため，対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません．

また，この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが，対象者のプライバシーは十分に尊重され，個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません．

もし，下記の研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は，下記連絡先にご連絡くだされば，解析対象から除外させていただきます．同意されない場合でも，診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません．また下記研究に関して，ご不明な点がございましたら，いつでも下記連絡先にお問い合わせください．

＜概要＞

研究課題名：「呼吸器内科における気管支拡張症の診療状況に関する後ろ向きコホート研究」

対　　象：2025 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの間に呼吸器内科を初診受診した患者さん．

研 究 期 間：倫理委員会の承認から最長で 2 年間を観察期間とします．

研 究 目 的：気管支拡張症は．慢性呼吸器症状と画像検査で確認される気管支の拡張を特徴とする症候群であり、欧米では遺伝性の疾患がその原因の多くとされていますが、本邦にはすくないことがわかっており、本邦の疫学調査は不十分です．そこで当院の呼吸器内科を初診受診された患者さんで胸部ＣＴを撮影された患者さんの中で気管支拡張症がどれくらいいらっしゃるか、その診療状況を整理することを目的としています．

方　　法：診療記録より臨床情報を収集します．収集する臨床情報には，年齢，性別，既往歴，採血結果，呼吸機能，ＣＴ所見，喀痰や気管支鏡検体の細菌情報等があります．研究結果は学会および論文にて公表します．

個 人 情 報：臨床情報は仮名加工され，個人が特定できないようにして，必要な臨床データのみを収集して解析を行います．そのため，本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています．しかし，そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は，ご連絡いただければ解析対象から除外します．

問い合わせ先：研究責任者 大井　一成　国立病院機構　京都医療センター　呼吸器内科

〒612-8555　京都市伏見区深草向畑町 1-1　　TEL： 075-641-9161（代表）